

# 大安寺報

第74号



曹洞宗 圓祥山大安寺  
住職：長岡 俊應  
副住職：長岡 俊成  
〒039-4401  
青森県むつ市大畑町  
本町 80 番地  
Tel 0175-34-2926  
Fax 0175-34-6426  
E-mail info@daianji.jp  
http://www.daianji.jp

## 名句・名言に学ぶ

亡くなった人への一番の供養は、あなたが明るく元気で暮らすことです

瀬戸内寂聴(作家・僧侶)

お盆は久しぶりに家族や親族が集まる行事です。この機会に亡き方の思い出を語り合う方々も多いのではないのでしょうか？

芥川賞を受賞した『おらおらでいくも』(作：若竹千佐子)に次のような一節があります。

「この部屋には、おおぜいの人がいるの。さやちゃんやおばあちゃんだけでなく、ほらここにもここにも見えないけれどいるんだよ。見えない人もいるんだよ。耳を澄ませば声は聴こえる。その人たちと話していった」

「こわくないの」  
「何にも。みなまぶせてくれる。まぶると

いうのは……」

「知ってる。見守るってことだよね」  
「あいやあ、さやちゃんおべでるの」

この作品では、夫・周造の急死で大きな喪失感を抱えた主人公・桃子が、故郷や周造の記憶と懸命に向き合う中で、孫のさやかに対して、故人に「見守られている」という自身の気づきとそれに対する感謝の思い、生きることへの決意が綴られています。私たちにあって身近な方々は、私たちが生きるこの世界でかつて生きておられ、今こうして私たちが日々の生活を送ることができるのも、そのおかげです。供養はそれらの人々に感謝の気持ちをささげ、それらに支えられてきた自分たちがその恩に報いるべく決意を新たにできる機会です。冒頭の言葉にある「明るく元気で」というのは、物事を前向きにとらえ、積極的に生きる姿勢を表しています。このお盆、懐かしき家族親族と語り合う中で、その決意を共にする機会にしては如何でしょうか？

合掌

## 仏事

### Q&A 第四十九回

Q. お盆にはご先祖さまが帰ってくるのですか？

A. お盆は仏教伝来以前から、祖霊信仰として行われてきたといわれています。民俗学者の柳田国男によれば、日本人には「あの世にいる先祖は山や海に住んで、お盆や正月に子孫の元に帰ってくる」との信仰があったということです。のちに仏教が伝来し、そうした日本古来の祖霊観と融合していききました。そして先祖供養が日本における宗教の中心的立場となっていたのです。こうした祖霊観を基にして、盆の行事は日本の宗教文化として育まれてきました。その根底にあるものを「霊信仰」といいます。各地の宗教文化の風習などが加わり、宗派による違いなどもありますが、ご先祖さまや故人の霊が帰って来ると考えられています。曹洞宗においても、こうした古くから伝えられてきた信仰を、亡き人と触れ合う大切な行事として営んできています。このようなお盆の期間、ご家庭では家族や親戚が集まり、ご先祖さまや故人の御霊を迎え、感謝の気持ちを伝える行事として大切にいたしましょう。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師  
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)

## 行事予告

### 「キャンドルライト寺ヨーガ2023秋」

キャンドルの灯が揺れる中、ヨーガ・坐禅を体験できる行事を開催します。日常を離れ、ご自身の身体と心に向き合う静かな時間を過ごしませんか？

■日時：令和五年九月二十六日(火)

午後七時～九時(六時四十五分受付開始)

■場所：大安寺本堂

■定員：三十名(先着順)

■講師：中島敬子・長岡俊成

■参加費：五百円(当日申し受けます)

■持ち物：ヨガマット(バスタオル可)

／動きやすい服装で／マスク／水分補給のできるもの

■申し込み：左上の二次元コードをスマートフォンで読み取り、申し込みフォームに必要事項を入力の上で送信ください。



曹洞宗テレホン法話  
曹洞宗宗務庁運営  
0120-508-740  
携帯の方は03-3454-5410

曹洞宗テレホン法話  
「心の電話」  
東北管区教化センター運営  
022-218-4444  
http://soto-tohoku.net/  
tel-sermons/  
※9月1日～10日  
「恩おくり」  
(副住職担当)



大安寺  
公式ホームページ

スマートホン・  
タブレット端末の  
カメラ機能で  
読み取ってください。



大安寺  
公式 facebook ページ



【迎え火・送り火萬灯会への献灯について】  
○献灯料：紙製カップソーソク・五百円(迎え火用・送り火用それぞれ)  
※カップソーソクには、亡き方へのメッセージや、「〇〇家先祖代々菩提供養」「(戒名)霊位菩提供養」等とお書きください。また、施主名もお書きください。  
※カップソーソクは、迎え火(八月十三日)・送り火(八月十六日)両日とも、午後五時までは事務室に、午後五時以降は山門付近の受付に(荒天時は本堂に)お持ちください。  
○頒布：八月一日より事務室にて行います。

## 各種講座のご案内(令和五年八月・九月)

### ◆「月例写経・写仏会」(予約不要)

日時：八月二十七日(日)、九月二十四日(日)午後一時～三時  
内容：三法話／写経・写仏／茶話会

場所：中広間 参加費：五百円 備考：椅子席

### ◆「暁天坐禅会」(予約不要)

日時：八月二十日(日)、九月三日(日)・十七日(日)  
午前七時～八時十五分 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合

内容：禅語紹介／坐禅／法座

場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能

服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)

## 行事カレンダー(令和五年八月・九月)

### ■八月十二日(日)

「迎え火萬灯会」午後六時半～八時 ※荒天時は本堂にて

### ■八月十六日(水)

「孟蘭盆会施食会法要」(本堂)午前十一時

※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて

「送り火萬灯会」午後六時半～八時※荒天時は本堂内にて

### ■九月二十三日(土・秋分の日)

「秋季彼岸会法要」(本堂)午前十一時

※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて

## 編集後記

長引くコロナ禍も明け、かつての日常が戻ってきました。今年のお盆は昨年以上に多くの方が帰省してこられ、まちも賑やかなるのではないのでしょうか？これを機会に、亡き大切な方々の思い出話に花を咲かせてみては如何でしょうか？どうぞ、良いお盆をお過ごしください。(副住職)

次号のご案内 令和五年九月中旬に発行予定です。